

令和4年度江別市交通安全対策会議 意見等一覧

No.	委員名	ご意見・ご質問等の内容	市の考え方
1	藤岡委員	<p>全国的に高齢者運転の重大事故が発生しております。これは高齢に伴う認知機能の低下が原因と思われます。江別市内においても、運転操作を誤ってコンビニに突っ込むなどの事故が散見されます。</p> <p>これを防止するため高齢者の運転免許証の自主返納を促すことが必要です。返納者には一定期間「バス定期券」などを提供していく。このため老人会などに対する出前講座などで理解を求めていく。</p>	<p>市では、運転に不安を感じる高齢者が運転免許証を返納しやすい環境づくりを行い、高齢者による交通事故を防止するため、令和元年9月から江別市とコープさっぽろにおいて協定を締結し、支援サービスを実施しているところであります。</p> <p>令和2年4月には江別市も加盟しているさっぽろ連携中枢都市圏において、高齢者運転免許証自主返納支援制度を、令和2年10月には北海道において北海道高齢者運転免許証自主返納サポート制度を実施しているところであり、高齢者の免許返納に関しては、市や江別警察署だけではなく地域全体、北海道など関係機関の連携により、高齢者の事故防止に向けて取り組んでいるところであります。</p> <p>今後においても、高齢者が運転免許証を返納しやすい環境づくりのために、運転免許証自主返納制度について、より分かりやすく制度を周知してまいりたいと考えております。</p> <p>なお、委員ご指摘の「バス定期券」などの交通費の助成については、今後の研究課題として考えております。</p>

No.	委員名	ご意見・ご質問等の内容	市の考え方
2	中井委員	<p>道路交通事故の全市的な件数だけの取りまとめでは、市民の注意喚起に効果が小さいと考える。近年の障害以上の事故について発生個所、道路等を市内地図にプロットして明らかにして、市民に知らせ注意喚起をはかるとともに、当対策会議で議論して、次の年の交通安全活動において当該場所等の付近住民などと協力した安全対策を重点的に実施するなどきめ細かい対策が必要である。</p>	<p>交通事故発生場所や状況を確認し、交通事故発生傾向等をパソコンやスマートフォン等で分析できるマップとして作成し、車の運転者だけでなく、自転車や歩行者の方も交通安全意識の向上に役立つことのできる「交通事故情報マップ(北海道警察ホームページ)」を市ホームページにリンクして市民にお知らせし注意喚起を図っているところであります。</p> <p>今後については、市民に対して更に重点的・効果的に注意喚起を図る方法を検討していきたいと考えております。</p>
3	中井委員	<p>信号機等の設置要望については、どこの場所でどのようにしたいのかを特定の自治会や住民だけでなく、広く市民に公表してその意向を把握すべきと考えられる。また、当対策会議においてその優先度、内容を議論する必要がある。</p>	<p>市では、所管である北海道公安委員会へ江別警察署を通じて、自治会や学校からの要望のあった信号機等の設置について要望しているところであり、このほかに必要に応じて江別警察署に現地立会を依頼し、自治会、学校等の関係者が集まって、要望が必要となる現状を説明しているところであります。しかし現状におきましては、信号機等の設置要望の件数に対しまして、実現箇所数が極めて少ない状況であります。</p> <p>各要望箇所につきましては、それぞれの地域の実情が多様であることから、市として、例えば交通量や利用頻度等一定の基準で要望の優先順位をつけることは困難であると考えております。しかしながら、今後とも市として要望書の提出方法について、より効果的な手法を検討していきたいと考えております。</p>

No.	委員名	ご意見・ご質問等の内容	市の考え方
4	中井委員	<p>近くに信号がある横断歩道があるにもかかわらず車道を横断する歩行者が多数みられる。特に、特に大麻16丁目から江別5丁目までの道道(2番通り)での頻度が大きい。歩行者への重点的な注意喚起が必要である。</p>	<p>市では、江別警察署と連携を図りながら交通安全教室や交通安全啓発イベント等において、横断歩道のない車道を渡る危険性を周知啓発し、近くに横断歩道のある場所では横断歩道を渡ること、斜め横断はしないこと、信号機のあるところではその信号機に従うことなど基本的な交通ルール遵守の徹底について注意喚起を図っているところであります。</p> <p>今後におきましても、より一層、基本的な交通ルールを遵守してもらおう注意喚起を行い、市民の交通事故の防止に努めてまいります。</p>